

## 平成21年度「専修学校を活用した就業能力向上支援事業」成果報告書

コース名	②社会人対象コース						
事業名	中高年離退職者の再就職を支援するITスキルアップ講座						
法人名	学校法人コア学園						
学校名	飯田ゆめみらいICTカレッジ						
代表者	楨原 英勝	担当者 連絡先	事務長 橋本 勝行 Tel 0265-22-5111				
1. 事業の目的							
<p>中高年者の再就職にあたり昨今の厳しい雇用情勢の中、どんなに業務上の専門的な知識があり経験年数が高い人であっても、「パソコンが全く使えない」では雇用主に与える印象が「仕事が出来ない人」ということになりかねません。再就職するためには、学校教育のなかで既に基本的なITスキルを学んできている新卒の新入社員と同等、それ以上のスキルが必要とされます。</p> <p>当事業では、ICT (Information and Communication Technology) の基礎スキルを学び、その後、身につけたスキルの裏づけとなりうる各種検定試験合格をめざします。さらに、受講者自身の職務経験もしくは今後希望する職種に沿った形でデータベースシステムを構築する演習、もしくはJw-CADの操作方法を習得し作図演習する2コースを設け、選択制で受講できるようなカリキュラムを構築し実践していきます。</p> <p>またインパクトのある「職務経歴書」の書き方、効果的な自己PRのしかたなどの指導も実施し、少しでも再就職の支援につながるような事業推進をしていきます。</p>							
2. 事業の実施に関する項目							
①カリキュラムの概要 (目的・科目数・内容・期間)							
<p>離退職した中高年者が再就職にあたり、パソコンが使えるかどうかは大きなポイント。「パソコンは使えてあたりまえ！」と言っても過言ではない昨今の再就職状況の中、当事業では幅広い分野で活用できるようICTスキルと最新のアプリケーションの修得を共通科目とし、更に選択科目としてデータベースコースとCADコースを設け、少しでも再就職に有利なスキルが身に付くようなカリキュラムを構成し実践した。</p> <p>●開設講座数 : 1講座 ●総授業時間数 : 153時間 ●開設期間 : 10月3日～12月24日 (内訳)</p> <p>&lt;基礎スキル&gt;</p> <table border="0"> <tr> <td>・パソコン基礎</td> <td>3時間</td> </tr> <tr> <td>・Word基礎</td> <td>19時間</td> </tr> </table>				・パソコン基礎	3時間	・Word基礎	19時間
・パソコン基礎	3時間						
・Word基礎	19時間						

・Excel基礎	18時間
・Access基礎	18時間
<検定対策>	
・MCAS Word	21時間
・MCAS Excel	20時間
・日商パソコン検定	16時間
<選択科目>	
・Access演習	13時間
・Jw-CAD	22時間
<就職支援講座>	
・履歴書、職務経歴書の作成	} 3時間
・再就職の心得	
・再就職相談	

上記の他、1週間程度の地元企業での職場実習の機会を設けた。

## ②受講者の募集方法（手法・期間・効果）

受講者募集に当たっては、主に下記の方法を用いて行った。

1. 新聞広告（7月26日、8月1日、26日の3回掲載）
2. タウン誌への募集広告（8月7日、21日、9月4日 発行分）
3. 地元ミニFM局のスポットCM（9月1日～9月20日の間、朝夕2回）
4. ハローワークへのチラシ設置（9月1日～9月25日）
5. 飯田市広報（9月号）への掲載

応募状況は定員10人のところ、18人の応募があったため、書類審査を行ない、特に講座を受講する必要性の高い13人を受講対象者とした。

## ③受講者の状況

受講者13人の内訳は下記のとおりである。

- ・女性3人、男性10人
- ・年齢層は 20代1人／30代2人／40代5人／50代3名／60代2名

いずれも受講開始時点では定職に就いておらず、アルバイトなどで生活している方々であった。

## ④受講者の意識調査等

受講者満足度は下記のとおりであり、満足以上が69%という結果となった。

- 大変満足：3人（23%） 満足：6人（46%） 普通：1人（8%）  
 不満：2人（15%） 大変不満：0人（0%） 未回答：1人（8%）

<p>⑤受講後の状況（修了者数・就職率）</p>
<p>受講者13人中、12人が規定の出席時間数(出席率80%以上)に達したため、修了証（として学校教育法に基づく履修証明制度の対象となる履修証明証）を交付した。修了者のすべてが就職希望者で就職活動(含む職場実習)を行ない、3人が就職し、現在10人が活動中である。</p>
<p>3. 事業の評価に関する項目</p>
<p>①当初目的の達成状況</p>
<p>受講者満足度は69%（13名中9名が満足と回答）、2名が不満と回答。受講者のレベル差が大きすぎ、時間的制約もあり下位レベルの受講者をサポートし切れなかった。他方、当初の目的である講座就職者数は3月時点で3人という結果になった。昨今の厳しい雇用情勢を考えると、就職者を出せたことは、講座の目的はある程度達成できたものとする。</p>
<p>②事業の成果及び改善点</p>
<p>主な成果は下記のとおり</p> <p>1. 中高年離退職者の再就労に対するICT技術の教育カリキュラムの完成</p> <p>ICT技術の基礎を広く横断的に網羅した教育プログラムとなるよう、さらに実践を積み重ねて改善をしていく。</p> <p>限られた時間内でより多くのニーズ(科目希望)に。対応できるよう科目の組み合わせ(バリエーション)を増やしていく必要がある。特に、受講者のレベルも考慮した内容を用意していくことが必要。</p>
<p>③次年度以降における課題・展開</p>
<p>実施委員に加わっていただいたシルバー人材センターなどの各委員の方々と今後も連絡を取り合いながら、今回の成果をベースにさらに中高年離退職者の再就職支援に貢献できるように人在育成に努めていく。具体的には、カリキュラムを研鑽し一般向け講座として実施していく。また自校の学生向けカリキュラムへも積極的に取り込んでいく。</p>
<p>④成果の普及</p>
<p>成果および受講者の感想を盛り込んだ報告書冊子をコア学園グループ校(11校)へ配布。また職業訓練講座(基金訓練等)へも今回の成果を活かした企画・提案・実践をしていく。</p>